

5 道徳教育改善・充実のための情報発信

研究協議会で出された改善策を日々の授業や次の授業研究の計画に取り入れ、生かしていくことが大切です。また、校外の道徳教育に関する研修会等で得たことは、個人一人のものとしてせず、積極的に情報発信することで、学校全体の道徳教育の充実を図ることにつながります。

〈事例1〉 授業研究後の研究だより(教員向け)

研究だより R1.Z.16 no.4 7/12 道徳科(1A)研究授業

お忙しい中、ご閲覧いただきありがとうございます！上野自身、大変勉強になりました。生徒たちはとても頑張っていたと思います。いただいた指導・助言をお伝えします。ぜひ、参考にいただければと思います。道徳だけでなく、普段の授業でもぜひ！

★「生徒同士の対話」を！

発表してくれたら、ついついその生徒に切り返しをしがち。そこを、「**他人は今何を考えているのか**」など、他の生徒に確認をする。そうすると、生徒同士の意見の交換になっていく。



★集団思考の手立て=対話的学び

とってつけたようなグループ活動ではなく、ワークシートを見ずに説明し合わせたり、役割を持たせたり、全員の意見をまとめさせたりするなどして、**生徒の思考が深まるような手立て**を考える。

★切り返し発問を有効活用する

生徒の意見を受け止めつつ、「でも、こんな時はどうするの？」など、**一歩踏み込んだ返し**をする。その生徒が答えられなくても、他の生徒にふると答えられるかもしれない。**生徒が深める展開**にする。

★教材で「何を考えさせるか」を具体的に

人生の転換点が書かれているのが道徳の教材。主人公の心の変容は何がきっかけなのか、どんな風に変ったのか、何がそのようにさせたのか、など**教材研究**が大切！

また、今回のように項目がずれないように、「**生徒がどんな言葉を通してくるか**」を想定しておく、どう修正するか、どんな言葉が返ったらゴールなのかなどをイメージする。

アンケートも、生徒の考えを深められるような使い方を！



★自我関与

教材と生徒自身の経験をつなぎあわせる。頭では分かっている、けれど現実とは……。

★全員発言を目指す

社会人としても必要な、人前で自分の思いを語れる力をつけさせる。自分の意見を受け止められる共感の人間関係も大切、**自己存在感**(オレ、けっこうやれるじゃん！と心でつぶやける機会)を与える。発表をたくさんしてくれる生徒もいるが、ときには**意図的指名**も必要。



授業研究後に、成果と課題を整理し、ポイントを絞って全員が共通して取り組むことを提示すると効果的です！

授業の様子を写真等で整理して、発信するのも効果的です！

明日からの授業に生かせる工夫を行いましょ！

授業記録を保管しておくこと、次年度の参考になりますね！

配付する際に、説明を一言添えると効果的です！



小中連携道徳通信1号

令和2年 7月10日

発行者：〇〇

今年度、「自他ともに大切にする児童生徒の育成～小中9年間を見通した道徳科の授業づくりと評価を通して～」を研究主題とし、小中連携の重点項目をB「人との関わりに関すること」とし、研究を進めています。授業では、「自分の考えを待つ」「対話で考えを広げる・深める」「自分を振り返る」活動を展開や終末で位置付けています。これまでの授業実践の一部を紹介します。

～授業実践の紹介～

(主題名) 相手のための親切 B (7)【親切、思いやり】
(教材名)「やさしいユウちゃん」【小学道徳 生きる力 5】(日本文教出版)
授業者 〇〇教諭

<授業のポイント>

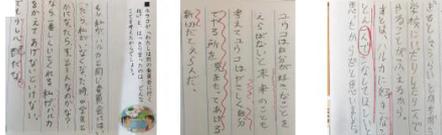
- 主人公ユウコの心情読解レベルで終わらず、道徳的価値(親切)に対する感じ方や考え方について考えさせる。
- 目先の事だけでなく、相手のこれから考えた親切について考えさせるために補助発問(「ユウちゃんってやさしくなったんだね」)を行う。

<反省>



<児童のノートから>

「相手のこれから考えた親切」について考えを深めることができました。



～授業の記録～

① 日時	令和2年 6月 23日(火) 第(2)校時
② 学校・学年・組	〇〇学校・5年・1組
③ 本時のねらい	「 親切には言いにくいこともはっきり言うユウコの考え方について考える 」を通して、相手の気持ちも考えるだけでなく、 本当に相手のためになることを考える親切が出来ること に気付く。進んで親切にしようとする道徳的意欲を育てる。
④ 学習指導過程	<ul style="list-style-type: none"> 〇みんなにとって、親切とはどうすることですか。 <質問> ◆総論①(始め～P552)を行う。 〇「ユウちゃんと一緒になれたよかったです。もう安心だよ。」とハルカに書かれたユウコはどんな気持ちだったか。 ・そう書かれてうれしい。 ・(私)が 漢字。 ◆総論②(P553～終わり)を行う。 〇(本当にそれでいいのかな。)としばらく考え込んだユウコは何を考えていたか。【評価①】 【1ア】今まで通りハルカを助けて自分も満足したいという気持ちとそれが本当にハルカのめになるのかを考慮しているユウコの立場を自分に置き換えて考えようとしているか】 ・ハルカは自分のやめたことをやめた方がいい。 ・私と一緒により自分の思いを優先すべきなのではないか。 ・ハルカは自立してはい(自分の意思を大切に)して行動してほしい。 ・親切はユウちゃんってやさしくなったんだね。 ・そうなのかな。 ・いや、違う。僕しいよ。 ②ユウコが「わたしは別の委員会に一人で行くね。」とはっきり言ったのはどんなことを考えたからか。【評価②】 【2ア】「あえて厳しい態度を取ったユウコが、ハルカにとって一番ためになることを考えていることを多面的に考えようとしているか】 ・自分のやりたいことをやめてほしい。 ・自分でしてほしい。 ・自分のやりたいことを我慢して私に合わせるよ、ハルカを不幸にしてしまうのではないかな。 <結果①> 〇親切とは、どのようなことだと考えますか。【評価③】 【2ア】「これまでの自分の親しい考えを振り返り、相手のために考える親切について考え、生活に生かそうとしているか】 ◆教師の総論(親切にして、されてよかった教師の体験)をする。
⑤ 成果	教材理解を補助発問を用いてスムーズに行い、中心発問を部分に取ることができた。また、主人公ユウコの心情読解レベルで終わらず、その思いを支える考え方や信念(道徳的価値レベル)についてまで考えさせることができた。補助発問も効果的。考えを深めることができた。
⑥ 課題	ユウコの心情読解で留まらなかったが、「これからのことを考える」など、良い意見が出て、悩ませることがあった。P4の17で分割し、「しばらく考え込んだユウコは何を考えていたか」を強調しても良かったのではないかな。また、児童から考えを引き出したり整理したりするための思考ツールや、児童同士の対話を生かす手立てについても検討していきたい。
⑦ 今後に向けて	児童から考えを引き出したり整理したりするための思考ツールや、児童同士の対話を生かす手立てについて検討していく。

〈事例2〉 道徳教育推進だより(教員向け)

道徳教育推進教師が国や県の動向、さらには、道徳教育に係わる様々な視点の情報、定期的に情報発信していきましょう!



研修だより

令和3年 1月15日
道徳教育推進教師 ○○

道徳科の授業を社会問題と共に考えてみましょう。

1995年1月17日に起きた『阪神淡路大震災』から26年が経ちました。毎年1月17日ごろ『阪神・淡路大震災』関連のニュースや新聞記事が多く見られ、児童の関心が寄せられやすい環境となります。この機会をとらえ、道徳科の教材を震災関係のものを選び、命の大切さや命を守ることを考えさせましょう。

主題名	たいせつな命	出典	小学校道徳 生きる力 日本文芸出版
教材名	「助かった命」		
ねらい	阪神・淡路大震災に遭遇した一家の行動から、生命はいかなる状況にあってもかけがえないものであり、大切に守っていくこととする心情を育てる。		
内容項目	D 生命の尊さ	学習方法など	
主題構成の理由	阪神・淡路大震災の実話をもとにした教材であり、命を守るために力を合わせた人々の行動から命の大切さを考えることができる。		
主な発問	<ul style="list-style-type: none"> ○「命」とはどんなものですか? ○「助けてください」と言ったおばさんはどんな気持ちだったでしょう。 ・大事な子どもを助けてほしい。 ・家族みんなで助かりたい。 ○お父さんが助けに行くと行ったとき、つとむはどんなことを思ったでしょう。 行てほしくない ・お父さんとお兄ちゃんが心配 ・家族みんなで助かりたい。 ・家族の命を守りたい ・みんな生きたいと思っている。 ・助かってほしい。 ○かけがえない命をどのように守っていくか、考えてみましょう。 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ☆生命のかけがえないのさを感じ取りと同時に、生きているものすべての生命の尊さにしても考えを深めることができたか。(道徳ノート・発言) ☆今後、どのような考えや思いをもって生命の大切さ、かけがえないのさを守っていくか、自分なりに考えを深めたか。(発言) 		
その他	安全な暮らし・心のベンチ「地しんがきたら」		



振り返り

【唯一性】
命は世界で一番大切なもの。
命はたった一つしかない。
命は人がたった一つもっている。とても大切なもの

【有限性】
失ったやいけないもの
なくなったら家族にも友達にも会えない
一回しかない大切なもの

【神秘性】
命には大切がたくさんつまっている
神様が人にくれたもの
奇跡でできている。

【連続性】
せっかくお母さんがつないでくれたもの

【必然性】
人が一番必要なもの



生命の尊さを教えるときに、様々な角度で生命観をとらえましょう。3年生の児童の言葉の中からも、このような生命観にたっただ考えが出てきました。ドキュメンタリー(事実に基づくもの)は、教材そのものにも力があります。それを社会問題と合わせることで、さらに訴えかける力が強くなります。情報のアンテナを張り、チャンスは逃さず、指導に生かしましょう。人々の生き方は、自分自身の心を磨くことにもつながります。

震災関連教材(概ね1月から3月教材として入っています)

1年生	はしれ、さんりくでつどう(東日本大震災)
	【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】
3年生	助かった命(阪神・淡路大震災)【生命の尊さ】
4年生	ネコの手ボランティア(阪神・淡路大震災)【勤労、公共の精神】
5年生	かげのてんわ(東日本大震災)【よりよく生きる喜び】【勤労、公共の精神】
中学1年生	ゆうへー生きていてくれてありがとうー(阪神・淡路大震災)【生命の尊さ】
中学2年生	避難所にて(阪神・淡路大震災)【節度、節制】
中学3年生	塩むすび(東日本大震災)【思いやり、感謝】

【こぼれ話】
災害ボランティアは、阪神・淡路大震災から様々なシステムややり方が確立していききました。当時、学校に避難していた人に対してボランティア活動をしている先生の手伝いを始めた子どもたちの「ネコの手ボランティア」は、色々な教材になっています

情報提供だけではなく、各学級で取り組んでもらいたいことなどを発信し、組織的な取組にしましょう!

吹き出しや図、イラストを使用し、伝えたいことをコンパクトにまとめるのも効果的です!

道徳・研究通信

道徳教育推進教師

3学期通知表への「道徳所見」の記述について

3学期の道徳科の評価および生徒指導要録の記載内容について方向性を示します。各学級で作成、起案の程、よろしくをお願いします。

1. 評価の方向性

3学期は年間を通した道徳科での成長の様子を評価し、記述してください。その際、要録所見の記述も視野に入れて、右の図のように前半と後半で記述内容に変化をつけず。

前半と後半の文章の例

前半

後半

このような評価の長所と短所

道徳の教材で学びながら、登場人物に自分を置き換えて生活を振り返り、友達の考えを聞いて、一つのことを様々な見方で捉えたりして、今後のよりよい生き方について考えを深められるようになりました。

継続的な授業により、子供の成長の様子が分かる。

どの子供にも当てはまるような評価が易く行われる。

年間の総合評価(120字程度)

前半 1年間の生徒の成長の様子を表す文章

80字程度 ※数体を帯体にして要録に転記

後半 生徒の良い点を評価し、励ます文章

40字程度

このような評価はいかがですか?

素に自分に照らし合わせて、授業では自分を振り返り、反省するよう促されたい。しかし、それは、今の自分はこうあるべきかという自分自身と捉えている表れであり、これらの道徳の授業で、どんな自分をつくりあげていくのか、とても楽しみにしています。

何だかちょっと温かい

何だかちょっと勇気付けられる

出典:「令和元年度道徳教育指導者養成研修(中国・四国ブロック)」

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見 哲也 講師資料

2. 評価方法

(前半)「1年間の子ども学習状況や道徳性に係る成長の様子を表す文章」について、年間の振り返りやこれまでのワークシートをもとに、評価の視点に沿った生徒の成長の様子を客観的に記述してください。

評価の視点

①多面的・多角的な見方へと発展しているか。

②道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

(後半)「生徒の良い点を評価し、励ます文章」として、もらった生徒にとって今後の学習の励みになる文章を記述してください。普段の学習状況をふまえた担任の主観でも良いでしょう。

※裏面に具体例を記載しています。

3. 評価の具体例

※生徒Aの「1年間の道徳を振り返って」より

(2)1年間の道徳の授業を振り返り、授業を通して自分が成長したと思うことはどんなことですか、理由も書きましょう。

1年間の道徳は、様々な視点から物事を考えられるようになったこと、道徳的、道徳的な意見も、和時間や意見も、授業で学んだこと、難しかったこと、自分自身、深く考えるようになったこと、様々な視点から、物事を考えられるようになったこと、

(3)おなかがどうして「道徳の学習」が好きですか、その理由も書きましょう。

自分に合った道徳の学習は、

自分から学び、一番楽しい授業だ!

道徳 国社教がどうも、日常の生活でいろいろなことが、

遠く、一番理解しやすかったこと、正解が、一番

いける。

(1)の記述

「教材の様々な登場人物の視点から考えたり、友達の見解を理解しようとしたりするなど、みなからも道徳的価値について深く考えることができました。」
【評価の視点①】

(2)の記述

「答えのないことに真剣に向き合って考える姿が印象的です。これからもその姿勢を大切にしてください。」
【もらってうれしい、励みになる】

	所見	文字数
A	教材の様々な登場人物の視点から考えたり、友達の見解を理解しようとするなど、みなからも道徳的価値について深く考えることができました。答えのないことに真剣に向き合って考える姿が印象的です。これからもその姿勢を大切にしてください。	116
B	道徳的価値について友達と話し合っていて、相手の立場になって考えたり、教材の内容を自分の事として考えたりする姿が見られました。道徳で学習したことや深く考えたことは必ずこれからの人生で役立つものになります。自分の行動を振り返りながら、よりよい生き方を模索していきましょう。	133
C	テーマについて友達との議論を通してより深く考えることができるようになりました。また、終末では議論したことをもとに自分なりの意見を持つことができました。何か一つの事をじっくり考えることは大切なことです。道徳の授業で考えたことをこれからの人生に生かしていきましょう。	131
D	道徳的価値について自分の考えと他の人の考えとを比べて考えるなど、自分と違う意見や立場を理解しようとしている姿が見られました。特に、命をテーマとした教材ではより深く考えることができました。大きなテーマについて改めて考え直す姿勢をこれからも大切にしてください。	130

上記A~Dの記載例や、昨年度の所見を参考に、各学級で作成し、道徳推進教師経由で起案をお願いします。

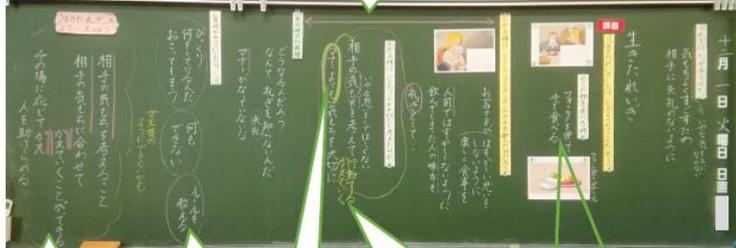
〈事例3〉 教職員間の情報共有資料

特別の教科 道徳 共有していきましょう！

教務研究部
R2.12.7

○児童の発言やつぶやきを受け止め、整理しながら児童にとって思考しやすい板書の工夫をめざしましょう。

(最近の板書：参考までに…)



比較して見せることで
考えやすくさせる。

児童から出た言葉
から、本時のねらいに
せまることができる。

仲間に分けて
示す。

児童から出た言葉
を教材とする。

教材の内容を理解できる
ようにするための板書。

思考の流れ、つな
がりを表す。

R3.2.9

○児童の考えや振り返りの内容(自分事)を深める、視覚化を目指した板書(例)

⇒必要に応じて(いつも必要だとは限りませんが)、登場人物の変化を矢印で表すことも、
取り入れてみましょう。



参考資料

令和 年〇月〇日(〇)
道徳教育推進教師 〇〇〇 〇〇〇

道徳参観日について

道徳教育は、学校、家庭、地域社会の三者がそれぞれの役割を果たすことによって、その充実をより図ることができる。社会の価値観が多様化する中で、三者の連携はますます重要性を増している。学校で指導した内容が、家庭や地域社会の中に反映されたり、家庭や地域での生活が学校の生活に生かされたりすることで道徳の実践力を身に付けることができる。

そのために本校では、保護者に、学校の教育活動を通して行われている道徳教育や道徳科への理解を促すために道徳参観日を設定している。

1 日時 〇月〇日(〇) 5時間目

2 道徳参観日の道徳科の効果的な方法について

(1) 間接的な参加の方法

- 授業の内容をもとに終末に保護者へ手紙を書かせる。
→後日、保護者の対応や感想を学級通信で全体に広める。
- 授業の中で保護者の手紙や思いを伝える。
→事前に保護者への授業のねらいを伝え、手紙やメモを書いてもらうために事前の取組が必要となる。また、児童に手紙を渡す場合は、全員の児童へ手渡せるように配慮する。

(2) 直接的な参加の方法

- 授業の資料提示を保護者に手伝ってもらう。(資料の読み聞かせをお願いする・役割を決めて台詞を読んでもらう。等)
- 授業の終末や内省化で自分の思いを語ってもらう。
- ビデオレターや手紙をお願いしておく。(手紙は、指導者が代読してもよい。)
- 授業と一緒に参加してもらい、発問に対して児童と同じように考えてもらい場合によっては、発言を促す。(児童と違う発問を準備し、保護者の立場で考えて発言してもらうことで、児童に保護者がどのように考えているかを伝え、児童の考えを深めることもできる。)

3 学級懇談会について

学校で推進している道徳教育や授業参観日の道徳の時間のねらいや求める価値について分かりやすく伝えることで、学校と家庭が共に補い合い連携しながら、一貫した道徳教育を進めていくことができるようにする。

4 事後交流について

- 月〇日(〇)の研修…事前交流。
- 月〇日(〇)の研修…授業及び懇談会の内容について交流。

研究を進める中で、大切にしたいことや意識統一を図りたいことについては、具体を示して提示することで、伝わりやすくなりますね！



道徳科に関する授業研究の実施、道徳科の授業公開や情報発信などを、道徳教育推進教師が中心となって協力して進めることが大切です！



〈事例4〉 道徳だより、学級だより、学校だより（保護者・地域向け）

家庭、地域社会と連携し、地域の文化を共に創り、子供たちを育てていくという意識の下に、よりよい協力体制を築き上げていきましょう！



道徳科で児童生徒が、どのようなことを学んでいるのかを写真等で紹介することで、保護者の方に具体的に理解してもらいましょう。

6年生学級通信

令和2年10月19日 No.17



研究会では・・・

9日(金)の5・6時間目に道徳の研究会がありました。

6年生は「ブランコ乗りとピエロ」という資料で授業を行いました。このブランコ乗りとピエロでは、サーカスの舞台裏で生じた二人のスターの対立に焦点を当て、自分を大切にしながら相手を尊重していくためには、異なる立場や思いをどのように捉えることが大切なのかを考えられるように構成されています。互いをライバル視し、相手を受け入れられないでいるピエロとブランコ乗りのサムの関係は、とても興味深く、サムの言動に腹を立てながら、その頑張りを目の当たりにする場面から、相手を受け入れることの難しさや大切さを考えることのできる資料となっています。子どもたちは真剣に聞いたり、発表したりと大活躍でした。また、授業の最後には、偉人の言葉を紹介しました。ヘレン・ケラーの残した言葉で「寛容さは、心への最大の贈り物だ。」ということを紹介しました。深くは説明をしていないので、子どもたち自身で考えてくれたら良いと思います。

また、その後の協議の中でも6年生が頑張って発言していたり、自分の考えをしっかりとノートに書いたりしていたと言っていました。本当に頑張りをみせることができた1時間でした。



小早川隆景に学ぶ～道徳の時間～

みなさん小早川隆景のことをどれくらい知っていますか。本郷小学校の三つ巴の校章が小早川家の紋章と同じことは知っていると思います。歴史ある町本郷。豊かな沼田川が目の前を流れ、交通の要所であった本郷。この地を小早川隆景は選び、高山城そして新高山城へと移り来ました。激動の戦国時代を小早川隆景はどう生き抜いたのか。そして今も歴史は上代を誇る武将になっていたのでしょうか。そしてどんな人柄だったのでしょうか。今も語り継がれているエピソードが数多くあります。歴史の学習や総合的な学習でいろいろな学習をしているかもしれませんが、そのひとつを紹介しましょう。

織田信長の勢力が中国地方に及び、その総司令官羽柴秀吉が毛利方の清水宗治の守る備中高松城を攻めました。その戦法も「水攻め」です。城の周りは湖のようになり、毛利隆元、吉川元春、小早川隆景も兵隊をひきつり、前線に近づけましたがどうすることもできませんでした。長いにらみあいの末、城主清水宗治は自らの切腹とひきかえに降参を成立させました。

こうして、隆景たち、毛利軍と秀吉たち秀吉軍が見守るなか、宗治は船の上で切腹し、毛利軍と秀吉軍との間で約束された「和議文書」(わぎぶんしょ)を交換しました。これで、お互いに約束を交わしたことになります。隆景は毛利軍の者は、みんな涙を流したそうです。それを見届けた秀吉軍は、堤防の一部を切り崩したかと思うと、ものい速さで東へ退かしていきしました。

下総津波をなすものだと隆景。元春、隆景は思いましたが、じつは京都で大変な事件が起こっていたのです。秀吉主人である織田信長が、秀吉と同じ家来の明智光秀に殺されていたのです。

隆景たちが知ったのは、秀吉軍が退却したすぐ後でした。隆景、元春の二人は、「秀吉軍を追いかけ、後ろから攻めよう。」「清水宗治の敵討ちができるぞ。」などと言い、追撃しようとした。しかし、隆景は二人の意見を止めた。「お二人の気持ちは、よく分かります。しかし、秀吉軍を追いかけ攻撃してはいけません。約束の文書を交わしてはなりません。ここで、追いかけて攻撃をすれば、後々まで毛利軍はひきょう者だと言われる。それに、家も大將が裏切りをするんだから、自分たちだってしてもかまわないと思うようになります。それよりも、毛利軍を追い追いかけて退却してしまおう。中国地方で一番強い毛利軍の旗を持っていたら、きっと秀吉軍の役に立つと思います。」隆景、元春の二人も、隆景の意見に従いました。

その後、秀吉が天下を統一しましたが、隆景の人を認めた秀吉は、「東は徳川家康、西は小早川隆景に任せよう。天下は大丈夫だ。」と言いました。隆景は大変信頼されたそうです。

小早川隆景は新高山城からどんな思いで本郷の地を見ていたのでしょうか。町並みは変わっていますが、みなさんも春の遠足で同じ場所から本郷の町をながめたいですね。そして本郷小学校の校章を見てみましょう。この校章には今までの本郷に生きてきた方々の思いがこめられているのではないのでしょうか。あなたたちはこの本郷の地を何を思っていますか。

みなさんは、上記の資料を読み、何を感銘しましたか？

6年生の児童は、総合的な学習の時間に「小早川隆景」について、調べ学習をしています。その調べた内容を10月22日にリージョンプラザで行われた「希望と未来フォーラム」で、立派に発表をしました。それに際立って、道徳の時間の学習で「織田信長」をテーマに「小早川隆景」について学習をしました。

6年生の児童に「本郷小学校の校章には今までの本郷の人たちのどのような思いが込められているのでしょうか」と質問しました。子どもたちは、「隆景のような立派な人になってほしい」「三つ巴の魂をもらった立派な人になってほしい」などの考えを発表しました。最後に「みんなにとって本郷はどんな場所ですか」と質問すると、「自分の好きなおもちゃ」「私にとって大切な場所」「必ず帰ってこるところ」など本郷を大切にしていきたいという思いを語ってくれました。子どもたちが大切にしていきたいと思う「本郷」。郷土を愛する子どもたちをしっかりと育てていきたいと感じました。



究授業を行いました。

資料は、中学校の「裏庭の出来事」(あかつき出版)を使い、学習を進めました。資料の内容としては、「学校で禁止されている裏庭でサッカーをしていた健二と大輔と健一。そこに猫に襲われそうになった鳥のひな。健一はひなを救おうとボールを投げた。ボールにびっくりした猫は逃げ、ひなは助かった。しかし、ボールによってガラスを割ってしまった。そのことを、健一が正直に先生に報告するため職員室へ行った間に、残された健二と大輔は、サッカーを始める。しかし、建物が壊れたボールが当たり、もう一枚ガラスを割ってしまった。そこへ先生を連れて健一が来た。大輔は、2枚ともひなを助けようとしてしまったとごまかしてしまおう。うまくごまかせたという大輔。でも、健一は、このままいいのか悩む。先生に正直に話した方がいいのか、ごまかしたままのほうがいいのか。・・・」

ガラスを割ってしまった健二の気持ちを中心に考えさせました。小学生からは「自分に嘘をつけない」「本当のことを言うですっきりしたい」など、誠実に行動した方がいいのではないかと意見がでました。しかし、中学生は、「正直に言うことで3人の関係が別れてしまうのではないのか」「正直に言っても仲良しの3人よりもどることはできないか」と発達段階で友情を大切に考える意見がみられ、6年生も中学生から学び、より深い価値に気づくことができた。

これからも、異学年の交流など様々な学びに挑戦し、子どもたちの心を育てていきたいと思っています。

11月2日 道徳地域公開～地域の方もぜひお越しください。～

11月1日～11月7日の1週間、「みはら元氣ワーク」(学校へ行こう週間)です。その一環として、11月2日に道徳参観日を行い、地域の方にも公開をします。保護者の方のみでなく、地域の方も是非、本郷小学校へ足を運んでいただき、子どもたちが自分と向き合い真剣に学習している様子をご覧いただけます。心よりお待ちしております。日程や学習の内容は以下の通りです。

日時・場所	11月2日(水)	授業公開	13:55～14:40	各教室
		講演会	14:45～15:45	体育館
		演題	「必聴!聴いて得る親業のななし!」	
		講師	三原市教育委員会教育相談指導員 高山 哲俊 先生	
授業内容	第1学年	いつもありがとう (尊敬・感謝)	「ありがとう」(光村図書)	
	第2学年	助け合う友達 (信頼・友情)	「森のともだち」(東京書籍)	
	第3学年	自分らしさ (個性の伸長)	「じゃがいもの歌」(東京書籍)	
	第4学年	友だちのよさを知る (信頼・友情)	「ほくらだっぺオーケストラ」(東京書籍)	
	第5学年	チームのために (約束や規則の尊重)	「星野君の二のい打」(東京書籍)	
	第6学年	本当の友達 (信頼・友情)	「ロレンソの友達」(日本標準)	
	あおそら	毎日を気持ちよく(規則正しい生活)	「そこだねボタタク」(光文書院)	

保護者の方へ道徳科で学んだ内容等を知らせることで、家庭でも話題にしてもいいでしょう!

道徳地域公開について、学校通信やHP等で紹介し、家庭や地域の方に道徳の授業を公開しましょう。

〈事例5〉 道徳教育に関する掲示板等



教室や校舎内などの環境を整え、児童生徒の豊かな心を育み、道徳的実践への意欲を高めましょう！



全校掲示板を活用しましょう！

学習した内容を常に振り返ることのできる道徳的な環境づくりをしていきましょう！



道徳の時間で学習したことを残していきましょう!!



共有スペースを効果的に活用しましょう

図書室

ワークスペース



道徳教育は、学校の教育活動全体で進めていくことが大切です。学んだことを全校のものにしていきましょう！

